

あわみなと通信

暮らしを支える港湾と空港の話

みなと報告

国土交通大臣表彰受賞 ～徳島県立小松島高等学校～

「横須海岸における松原の育樹及び清掃活動」

この度、海事功労者へ贈られる国土交通大臣表彰について、海岸の環境美化奉仕活動に尽力された功績を称え、徳島県立小松島高等学校が受賞いたしました。

同校は、かつて「横須の松原」として有名であった小松島市横須海岸において、平成11年2月に松の苗木を植樹し、その後も木の周辺の草刈りやゴミ拾いなど育樹ボランティア活動（7～10回程度/年）を実施してきました。

その結果、虫食い被害等で松の木が極端に減少していた横須海岸には、立派な松の木が400本近く育っており、海から見ても綺麗な松原の海岸が広がっております。

今後も、美しい海岸の保全のため継続した取り組みが期待されます。



↑ 2013年 活動風景(写真提供:小松島高校)

↑ 活動場所について

● みなと報告	1
国土交通大臣表彰受賞 ～徳島県立小松島高等学校～	
● みなとインフォメーション	2
徳島小松島港 沖洲(外)地区にてケーソン据付完了	
「リフレッシュ瀬戸内」活動について	
● なるほどみなと講座	3
コンテナによる物流について	
● みなと通信	4
徳島小松島港における豪華客船寄港状況	

徳島小松島港 沖洲(外)地区にてケーソン据付完了

貨物需要の増加及び今後高い確率で発生が予想される東南海・南海地震の対策とし、現在、耐震強化岸壁を整備している徳島小松島港沖洲(外)地区において、岸壁の基本構造であるケーソン(計18函(徳島県施工2函含む)が10月で全て据付完了しました。このことにより、陸上からも新たに完成する岸壁の形が確認できるようになり、今後は背後を埋立し陸地化していく予定です。



(撮影：2013年10月)

【参考】据付開始前



【参考】ケーソン据付状況



(使用するケーソン)
幅：約20m・奥行き：約10m
高さ：約11m・重量：約1300t

「リフレッシュ瀬戸内」活動について

「リフレッシュ瀬戸内」活動とは、海浜の清掃活動という“誰もが参加しやすい活動”を通じて“美しい瀬戸内を守っていく”ことを参加者をはじめとする多くの人々に訴えていくことを目的に、瀬戸内・海の路ネットワーク推進協議会 (<http://www.uminet.jp/network/about/>) の事業として取り組んでいる活動です。

毎年、徳島県内の各海岸でも実施されており、今年も多くのボランティア参加のもと実施されました。



横須・金磯海岸(小松島市)



北の脇海岸(阿南市)

市町村名	実施場所	実施日時	参加人数(人)
鳴門市	鳴門市鳴門町土佐泊浦 (大毛海岸)	6月4日(火)	120
松茂町	板野郡松茂町長原 (松茂海岸)	5月25日(土)	700
徳島市	徳島市川内町 (小松海岸)	7月7日(日)	800
小松島市	小松島市横須町 (横須・金磯海岸)	6月8日(土)	1,100
阿南市	阿南市中林町 (北の脇海岸)	6月14日(金)	393
	阿南市中林町 (北の脇海岸)	6月15日(土)	299
	阿南市那賀川町 (今津海岸)	7月7日(日)	52
	阿南市那賀川町 (出島海岸)	7月9日(火)	29

↑ 2013年 実施結果(徳島県内)



こまぼんのなるほど!

みなと講座

～港湾・空港のことをもっと知っていただくために～



ぼくの名前は「こまぼん」。小松島港湾・空港整備事務所のマスコットキャラクターだよ。タヌキの耳としっぽが目印。一般公募によって名前がつけられたんだ。

第29回 コンテナによる物流について

かつて、貨物船の荷役については、現在のガントリークレーンが無かったため、小型のクレーンを使用したり、大型の貨物船については沖合に停泊させ「はしけ」という小型の船に荷物を乗せ替えて陸上まで運搬していました。

そこで、大量の荷物を効率的に、かつ安全に運搬できるようコンテナを専用に運搬する貨物船が、1956年に世界で初めて登場し、1970年代前半には世界の主要な航路がコンテナ化されました。コンテナによる輸送は世界中で飛躍的に増加し、現在では無くてはならない輸送手段となっています。

徳島小松島港におけるコンテナ専用ターミナルとしては、1995年6月に沖洲地区において釜山港（韓国）との定期航路が就航し、2011年3月には赤石地区にその機能を移設しています。



ガントリークレーン

徳島小松島港 赤石地区(撮影：2013年2月)

【コンテナの種類】

【参考】過去の荷役状況(1964年頃の神戸港)



← ドライ・コンテナ



← タンク・コンテナ



← リーファー・コンテナ



← フラットラック・コンテナ



多数の「はしけ」により、沖合に停泊している貨物船から荷物を運搬している状況。

上記のコンテナ等を使用し、重量物や液体、冷凍・冷蔵物、薬品など多種多様なものが運搬されています。(写真提供：㈱商船三井)

報告

徳島小松島港における豪華客船寄港状況

徳島小松島港では、阿波踊り開催時期を中心に日本トップクラスの豪華客船が年間通じて寄港しております。寄港に際しては、歓迎式典が開催され阿波踊りなどで出迎えられ、なかなか見る機会が少ない大型の豪華客船を一目見ようと見学される方も多数おられます。

港の活性化のためにも今後も継続して徳島小松島港へ入港してほしいものです。

2013年 徳島小松島港に豪華客船寄港状況

入港月日	船名	前港	次港
5月25日(土)	ふじ丸	鳥羽	東京 晴海ふ頭
8月11日(日)	飛鳥Ⅱ	横浜	釜山 (韓国)
8月14日(水)	ぱしふいっく びいなす	下関	名古屋
8月15日(木)	にっぽん丸	下関	横浜
9月19日(木)	ぱしふいっく びいなす	横浜	横浜

↑「ぱしふいっくびいなす」と「こまボン(小松島市マスコット)」

読者のみなさま

読者のみなさま、こんにちは、事務所長の藤野でございます。仲秋の候、いよいよご清栄のことと、お慶び申し上げます。秋風の中の金木犀の香りに、秋の深まりが感じられます。

今年の7月に、徳島県小松島市横須海岸での松原の育樹、清掃活動の長年の取り組みが認められ、徳島県立小松島高等学校が国土交通大臣表彰を受賞されました。平成11年より取り組まれてきたこの活動は、多くの生徒やボランティアの方々のご協力により、美しい海岸の景観が保たれてきました。これまでのご協力に感謝するとともに、この度の受賞について、心よりご祝辞を申し上げます。

当事務所では、徳島小松島港沖洲(外)地区において、耐震強化岸壁の整備を進めており、昨年11月には、第1函目のケーソン据付を行いました。今回、全18函のケーソン据付が完了し、岸壁の形が見えるようになりました。発災後の緊急物資受け入れや港湾機能の継続等、海上輸送における拠点となる耐震強化岸壁の早期供用に向けて、引き続き取り組んでいきます。

今後とも当事務所の事業に、ご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

朝夕はかなり冷え込んでおります。お身体には十分お気を付けてください。

小松島港湾・空港整備事務所長 藤野 正宏

出前講座の申し込み受付中!

当事務所では、海と空の「みなと」のこと、また当事務所の仕事について、広く皆さんに知っていただくために、出前講座(みなと学習、環境学習、防災学習)を開講しています。

楽しく学べる当事務所の出前講座、現場見学会のご依頼を受け付けています。



出前講座、現場見学のお問い合わせは・・・

当事務所 TEL (0885)-32-3357

または ホームページ「暮らしを支える港湾と空港の話」
<http://www.pa.skr.mlit.go.jp/komatsushima/>
よりお問い合わせください。